1　請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、1,379件（141種類）であり、このうち件数の多かったものは、「透明で民主的な公務員制度改革に関する請願」198件、「戦時性的強制被害者問題の解決の促進に関する法律案の早期成立による慰安婦問題の解決に関する請願」66件、「国民のための民主的な公務員制度改革に関する請願」49件、「有事関連法案反対に関する請願」32件などであった。また、有事法制関連三法案に関連した請願は10種類88件が紹介提出された。

各委員会への付託件数は、内閣331件、総務19件、法務47件、外交防衛107件、財政金融118件、文教科学285件、厚生労働403件、農林水産８件、経済産業45件、国土交通６件、環境２件、災害対策４件、倫理選挙４件であった。

請願者の総数は1,155万7,762人に上っている。

12月11日及び12日、各委員会において請願の審査が行われ、４委員会において133件（12種類）の請願が採択すべきものと決定された。次いで13日の本会議において「私立学校の保護者負担を軽減するとともに教育条件改善のための私学助成を充実することに関する請願」外132件が採択され、即日これを内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は、9.6%であり、また、種類別の採択率（採択数／付託数）は、8.5%であった。